No.

モロッコ漁業訓練プロジェクト
主要漁港視察報告書

平成元年５月

国際協力事業団

林水産
JR
89－26

モロッコ漁業訓練プロジェクト
主要漁港視察報告書

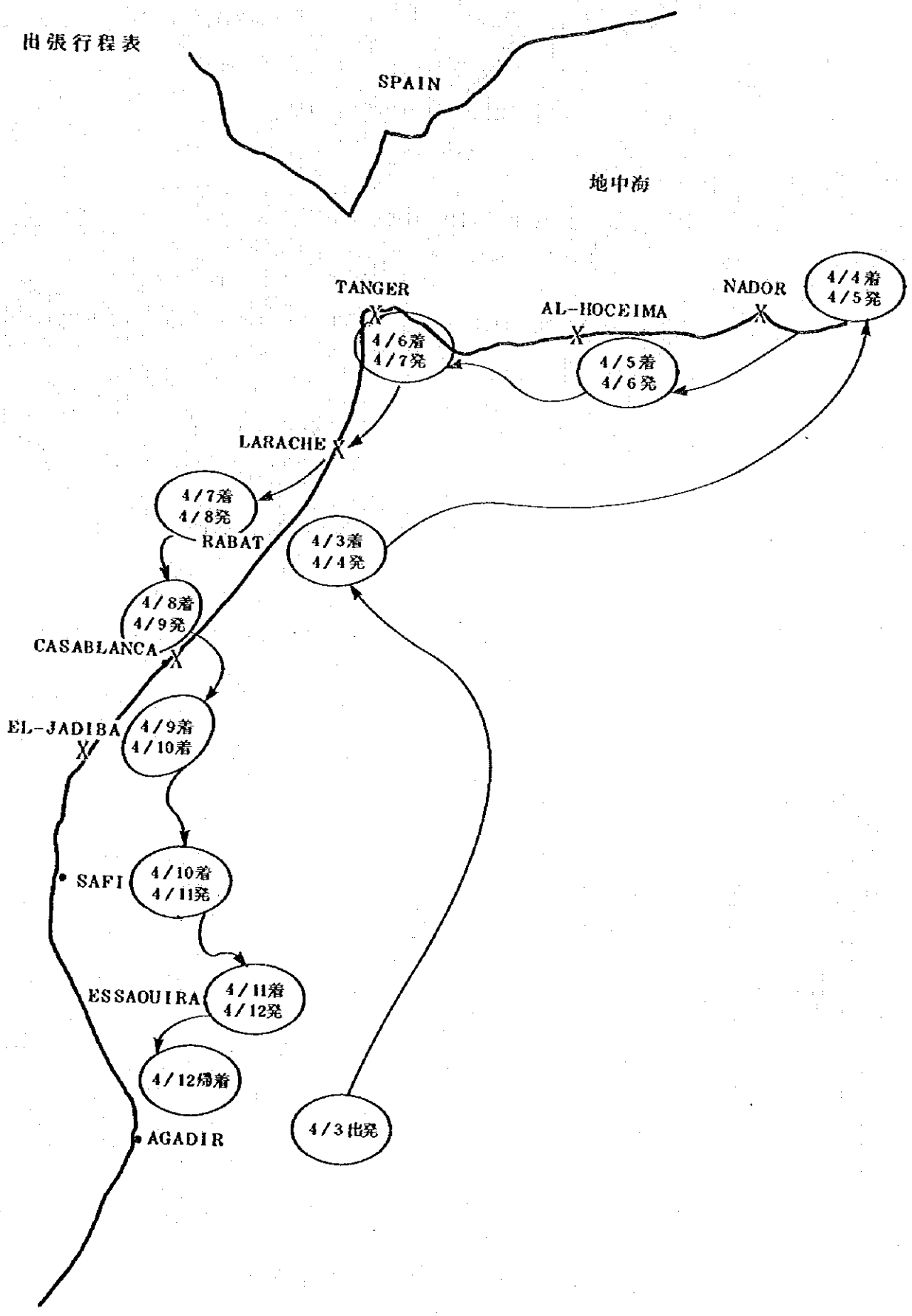
JICA LIBRARY
1085015[4]
21536

平成元年5月

国際協力事業団

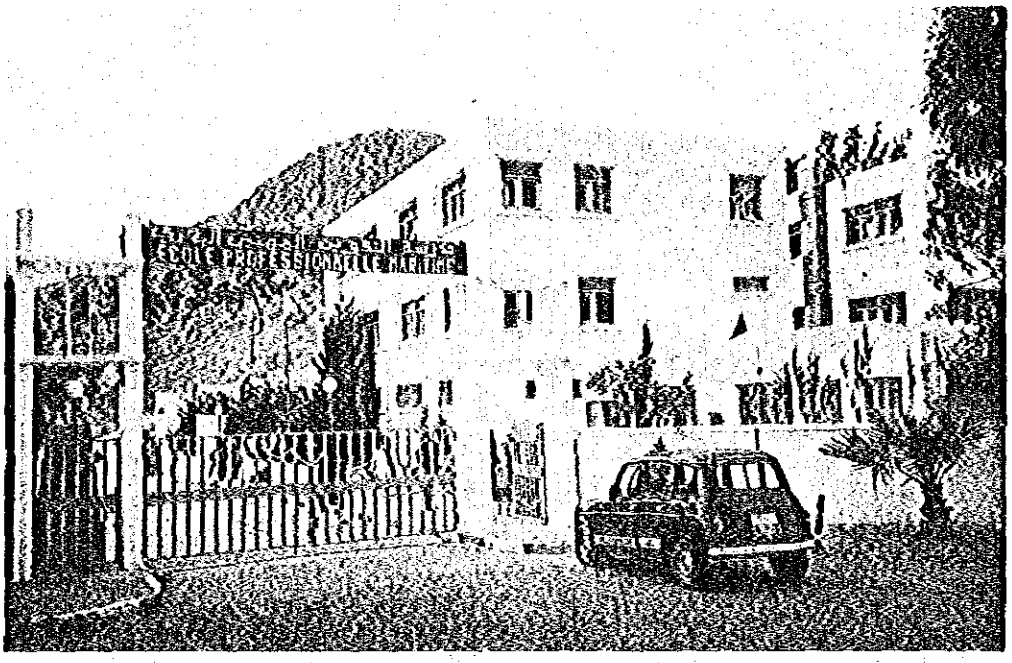
国際協力事業団
21536

出張行程表

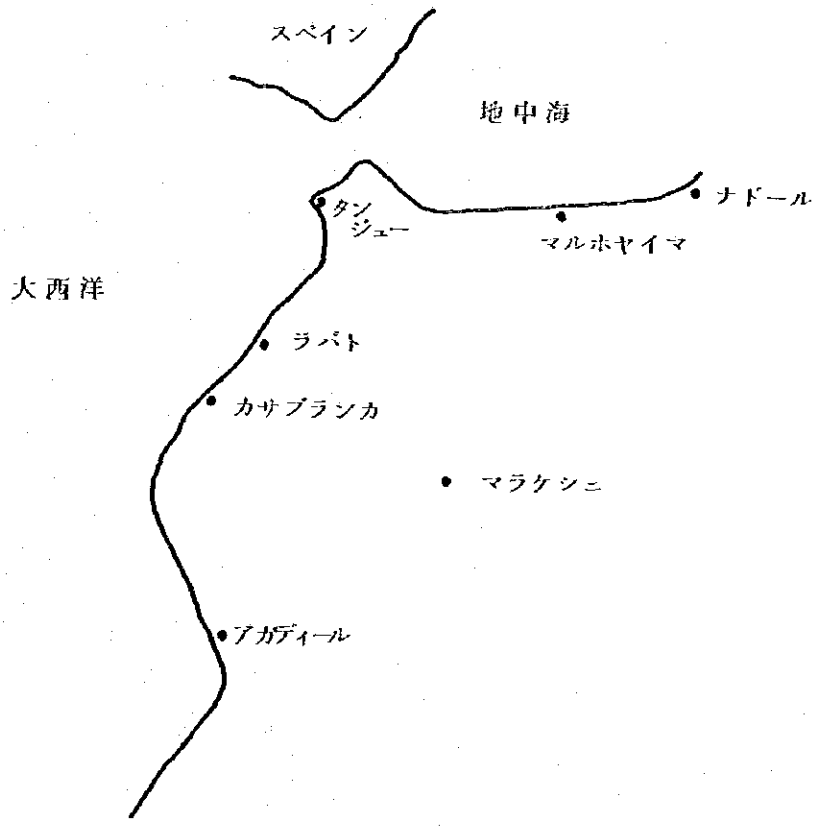

SPAIN
地中海
TANGER
4/6着
4/7発
AL-HOCEIMA
4/5着
4/6発
NADOR
4/4着
4/5発
LARACHE
4/7着
4/8発
RABAT
4/3着
4/4発
4/8着
4/9発
CASABLANCA
EL-JADIBA
4/9着
4/10着
SAFI
4/10着
4/11発
ESSAOUIRA
4/11着
4/12発
4/12帰着
AGADIR
4/3出発

面談者リスト

NADOR	MR. SMIMITE ABDERRAHIN. NADOR 海運支局次長。 Adjoint de Chef de Quartier Martime NADOR.
	MR. ABREHOUCH MOHAMED. 海運支局長。 Chef de Quartier Martime NADOR.
AL-HOCEIMA	MR. EL ATIAOUI ABDELLAH. 海運支局長。 Chef de Quartier Martime AL-HOCEIMA。
	MR. LAMRANI LEKBIR. EPM 校長 Directeur de Ecole professionnile Nartime AL-HOCEIMA.
	MR. ABDERRAG MOHAMED. 組合長。 President du syndicat dsa armateurs de peche AL-HOCEIMA.
LARACHE	MR. MEHDI AHMED. 海運支局長。 Chef de Quartier Martime LARACHE.
CASA	MR. TIJANI RHANMI. 漁業海運省、海運局長。 Directeur de la Marine Marchnade.
	MR. CHIBANE ABDELLATIF. EPM 副校長。 Directeur adjoint de E.P.M. CASABLANCA.
	MR. NATAQ AHME. 漁業科教師。 Professeur de Peche.
SAFI	MR. EL HIRECH ABDELLATIF. EPM 校長。 Directeur de E.P.M. SAFI
	MR. TERHAJAR ALI. 海運支局長。 Chef de Quartier Martime SAFI.



アルホセイマ E.P.M 校門



E.P.M. AL-HOCEIMA.（アルホセイマ校）

1. 組　織

学校長　MR. LAMRANI　LEKBIR. 以下６名の漁業科教師と３名の機関科教師９名によって、専門教科の教育を実施し、４名の教師が数学、物理、フランス語等の授業を担当している。

2. 生徒数

	漁業科				機関科			
	1年		2年		1年		2年	
	A	B	A	B	A	B	A	B
87/10 ～ 88/7	25	25	25	26	28	-	18	19

		1年（漁業科、機関科）	2年（漁業科、機関科）
86/10	87/7	57	98
85/10	86/7	62・57（特別教育）	58
84/10	85/7	62・44（　〃　）	44
83/10	84/7	44	34
82/10	83/7	43	35
81/10	82/7	43	

入学者の９９％はAL-HOCEIMA 出身者で占める。

3. 教育計画

別添教育計画に従いそれぞれの教科を消化している。

これらの教育上の問題点として学校長は、

1　地方の職業訓練学校のためか優秀な教師が集まらない。現在の教師のレベルが他のＥ．Ｐ．Ｍ．に較べ低く、今後の展望としてＩ.T.P.M で教師の再教育セミナーなどを開催してそのレベルアップの必要性が望まれる。

2　漁業訓練学校として一番必要不可欠な乗船実習が訓練船が無いために実施で出来ず、現在は夏のバカンス期、７～９月にかけ民間の漁船にグループに分け乗船させ実務訓訓を実施している。

4. 卒業生の就職の現状。

卒業生の大多数はAL-HOCEIMA での民間漁船に乗り組むが、中には漁船を嫌い商船を希望する生徒もいる。又漁船に乗船しても職場を喪失する現場の叩き上げ漁船員との間でしばしばトラブルを起している。これらはAL-HOCEIMA 漁港における漁獲水揚げ量の頭打ちからくる漁船数の増加が卒業生数に対応出来ない背景から来るもので、今後の大きな課題として残されている。

5. 教育機材の現状。（別添写真参照）

漁業科： １９８５年、日本政府の無償協力によりレーダー、ファクシミリ、方探、等が供与されている。担当教師により充分管理運用されている。

機関科： 日本政府供与のタービンモデル、木工旋盤、ボール盤、冷凍機シューミレーター、非常用発電機、等が供与され授業に活用されている。

訓練機材：９人乗り端艇、F.R.P.製1隻が供与されており、週３回の学生訓練に活用されている。

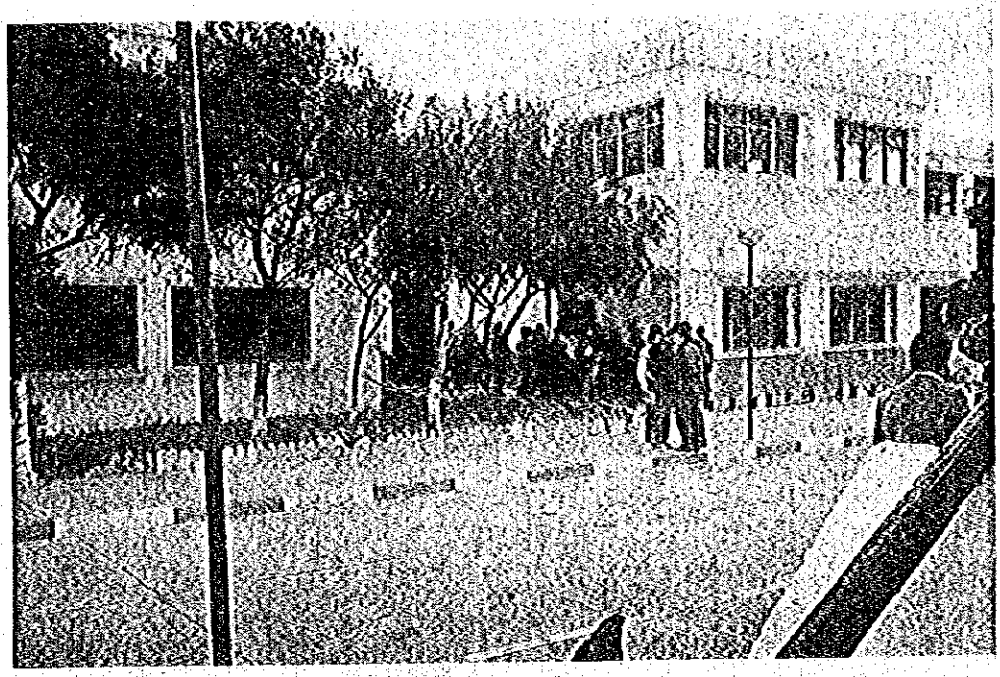
機材の現状としては、日本よりの機材により辛うじて訓練機関の体裁を整えていると言っても過言ではない。今後計画的な予算配分により機材の充実が望まれる。

6. 所　感。

E.P.M.（漁船員養成学校）は、その運営予算は独立した予算ポストを持たず漁業海運省の予算内で運営される為、ショートした電球１つの交換も本省の認可事項であり、計画的な予算背景による運営管理が困難な実状から、前述した機材の充実支障を来している原因の一つと考えられる。

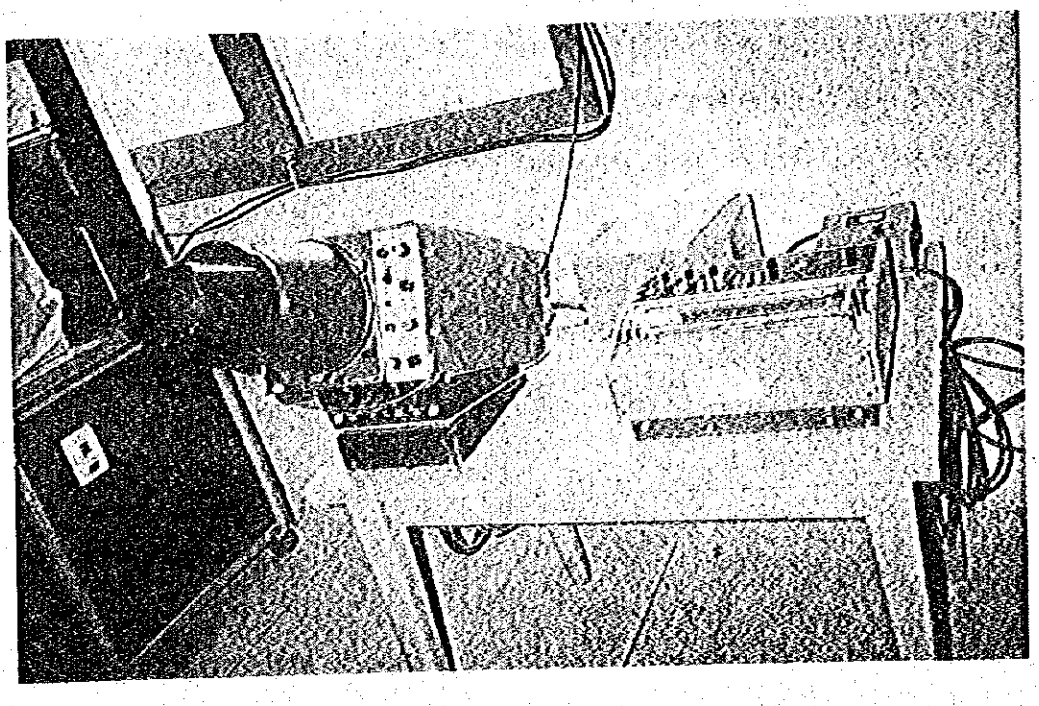
教育については、教師をレベルアップをするためにもI.T.P.M. における再教育等企画しその充実を図ることが望まれる。

E.P.M 校 長

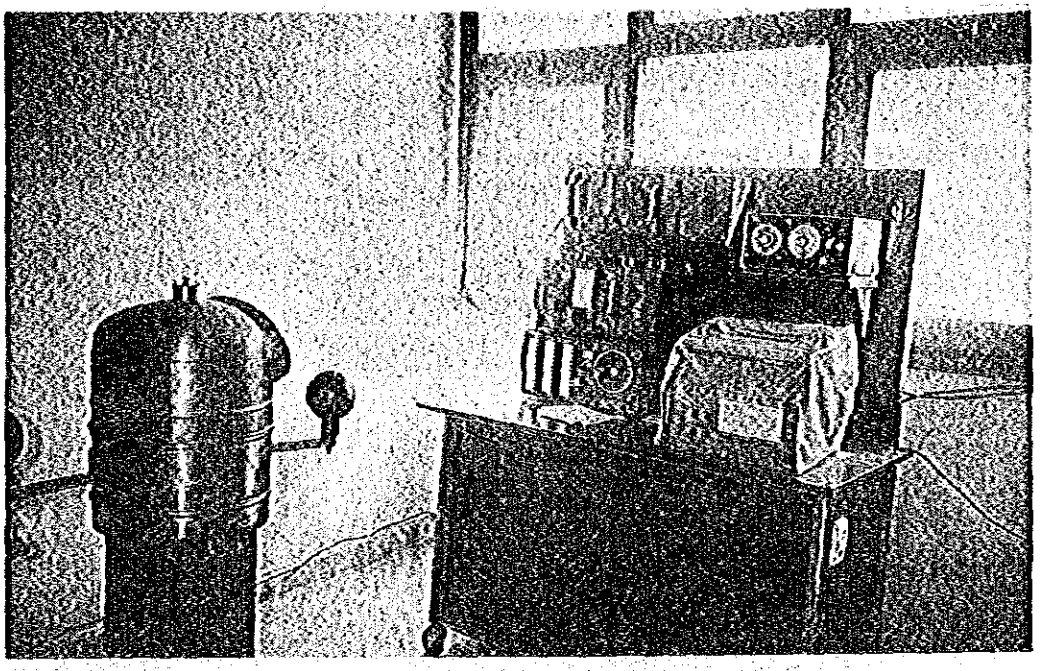


学 生 と 教 舎

航 海 科 教 室

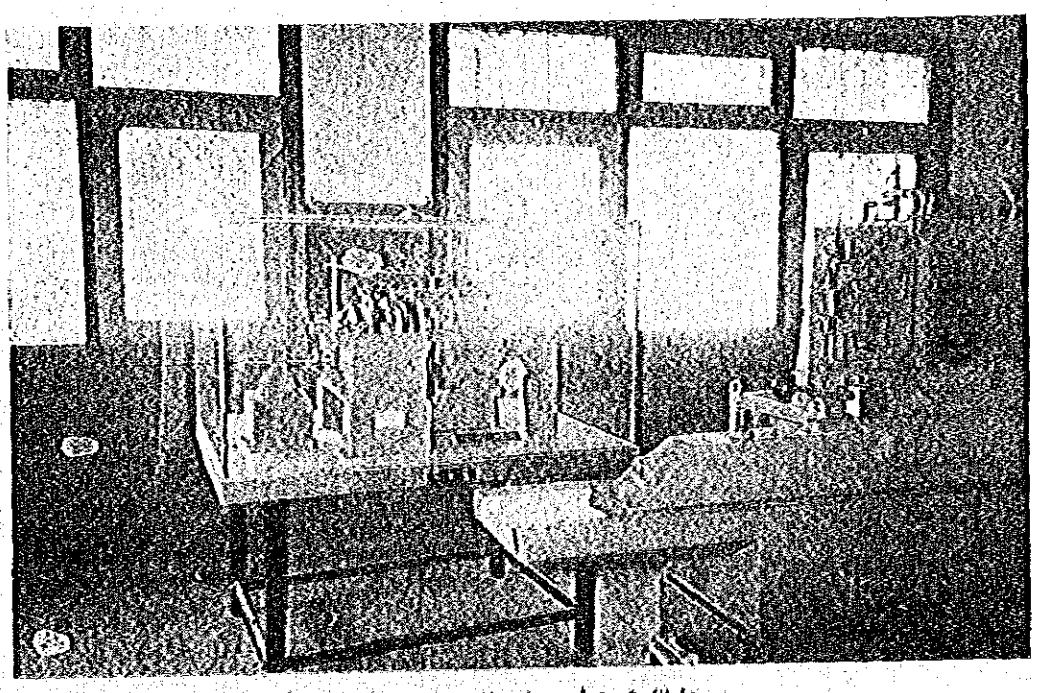


供与機械８６年　レーダー、ファクシミリ
（フルメ）



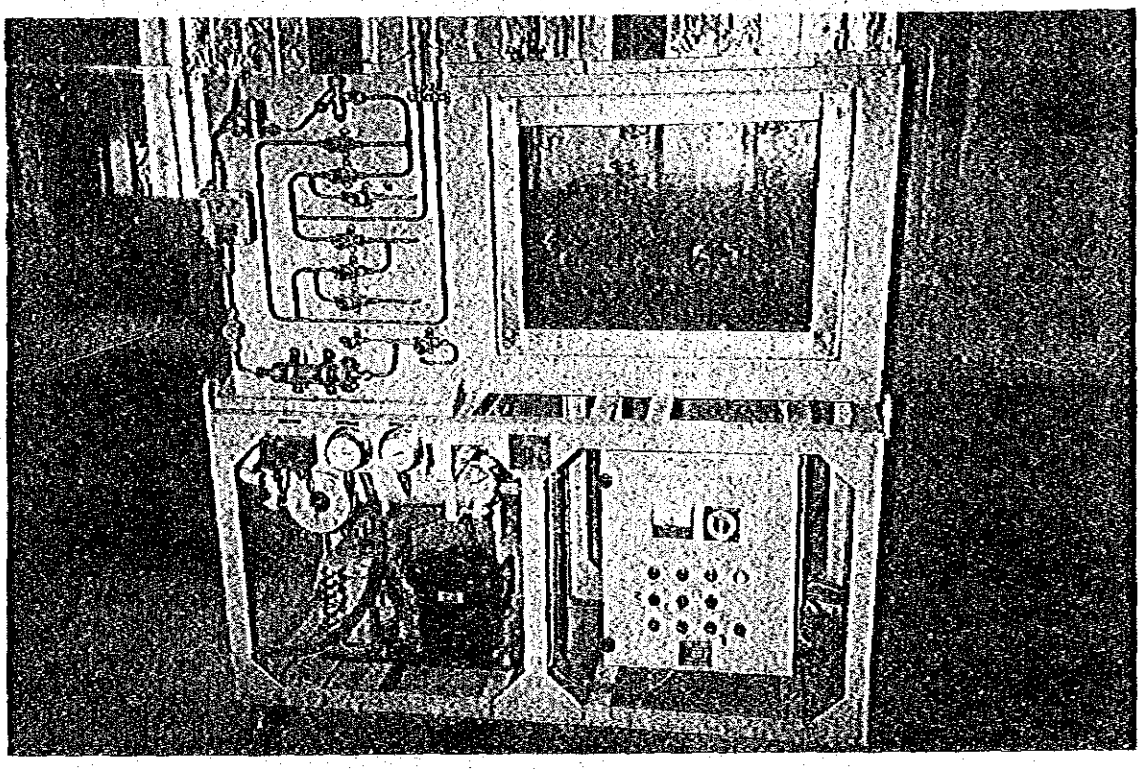
無　線　、　方　探

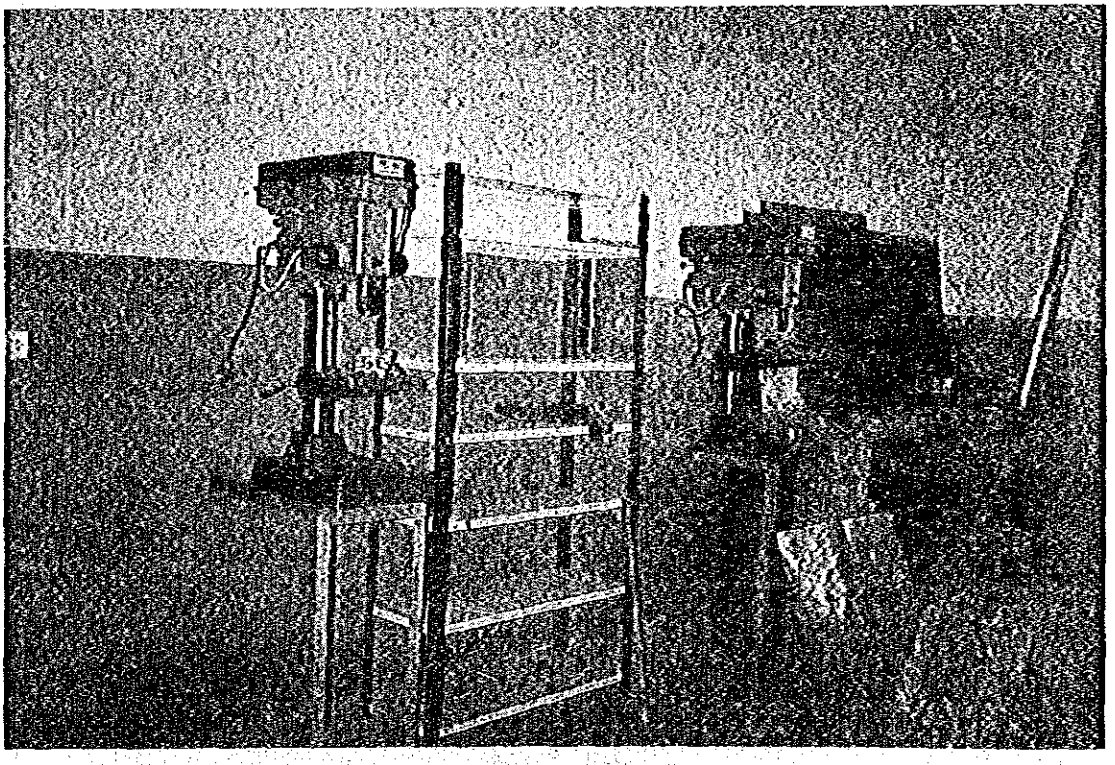
機　関　科　実　習　室



タービン模型、'86供与

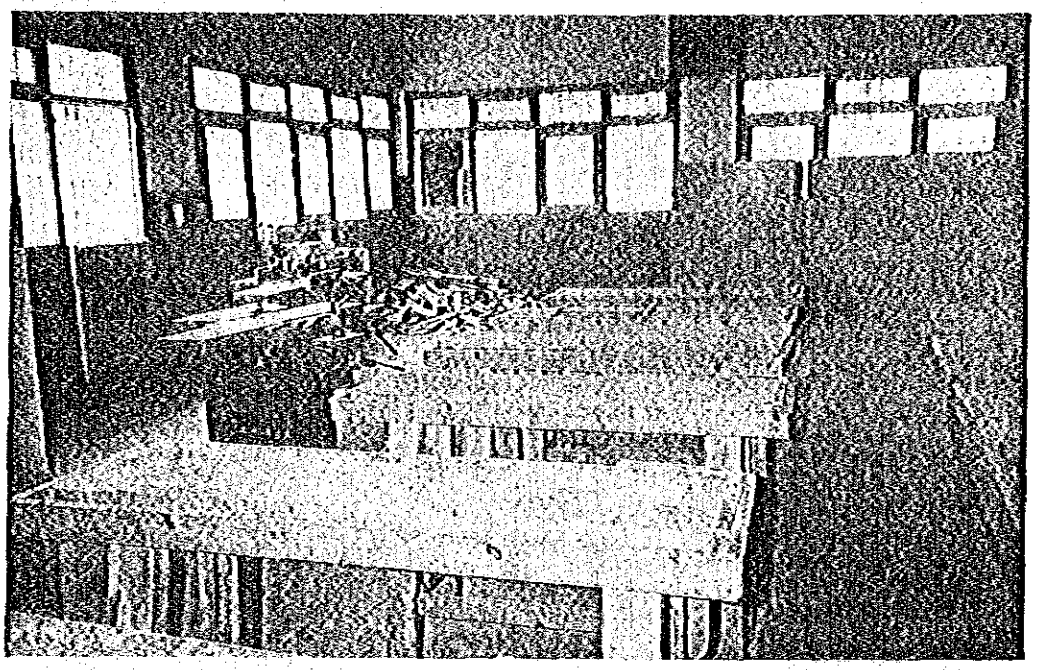
機械科実習室　冷凍機ラマミレーター



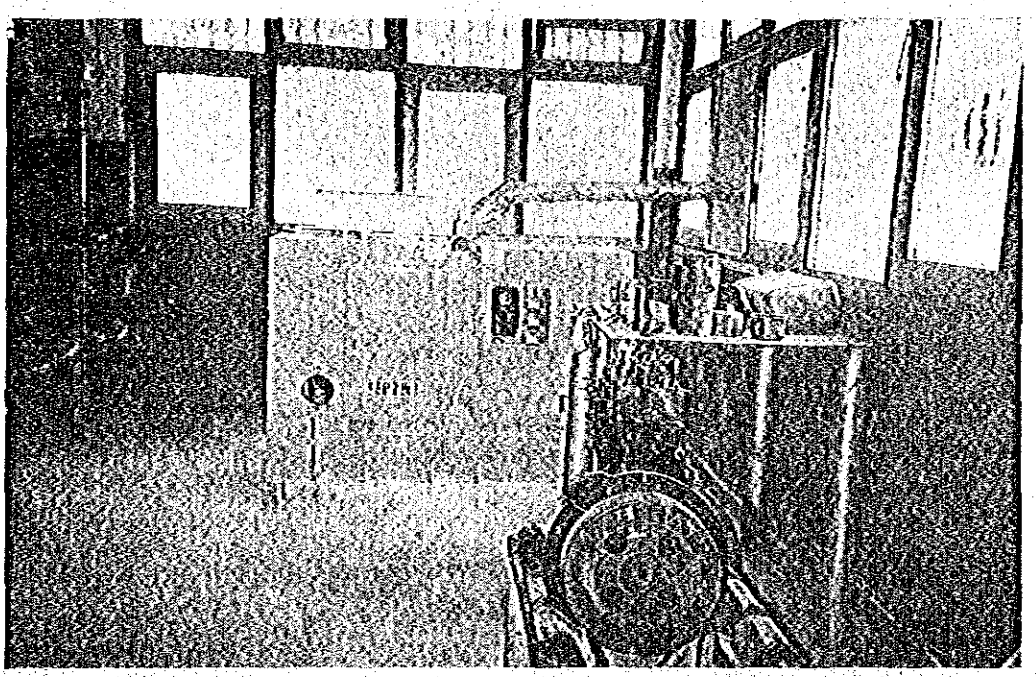


ボール盤、供与機械

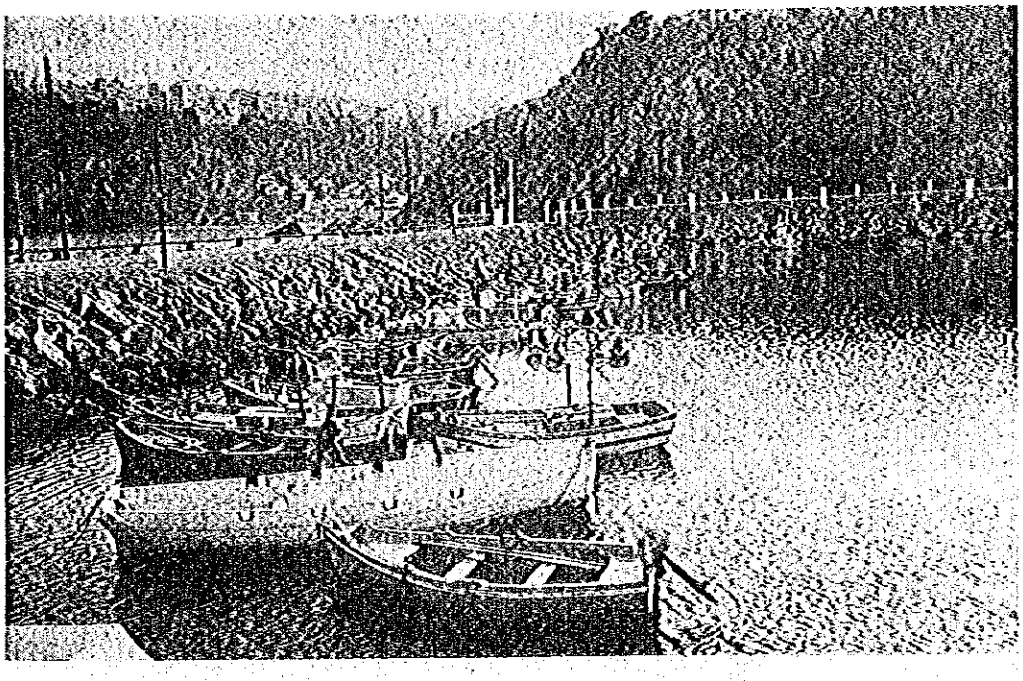
木工工作室　供与木工旋盤

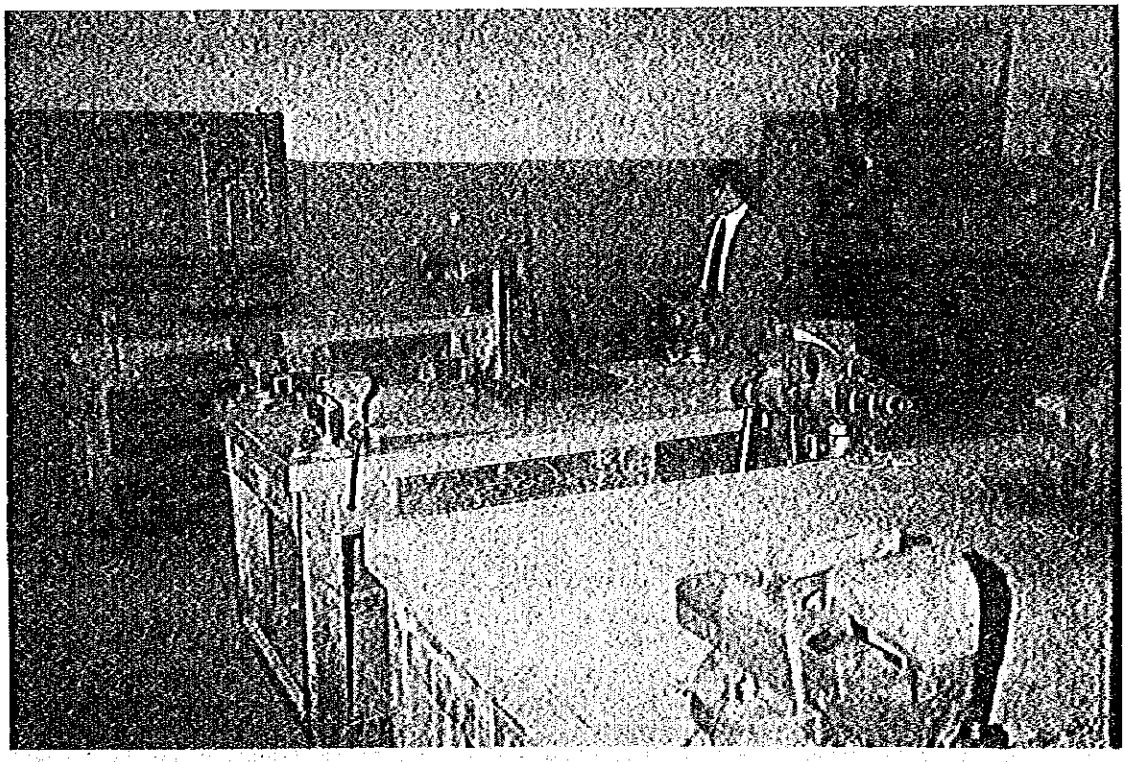


準席用発電機　供与機械

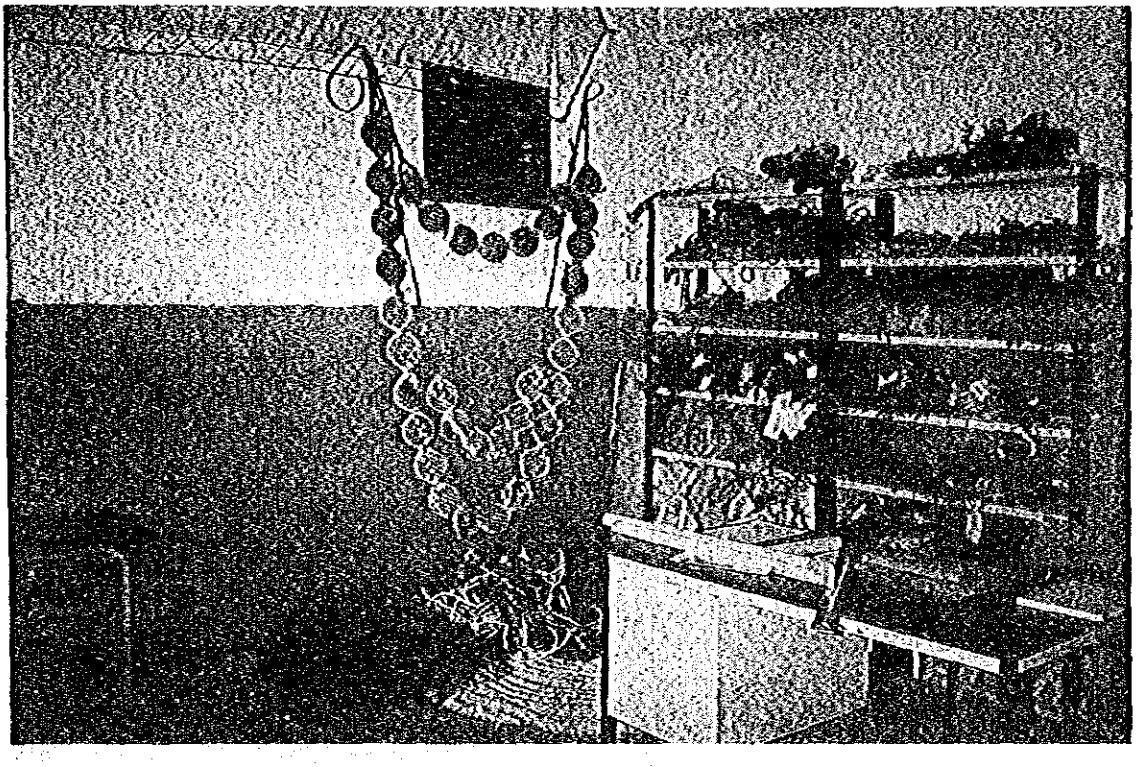


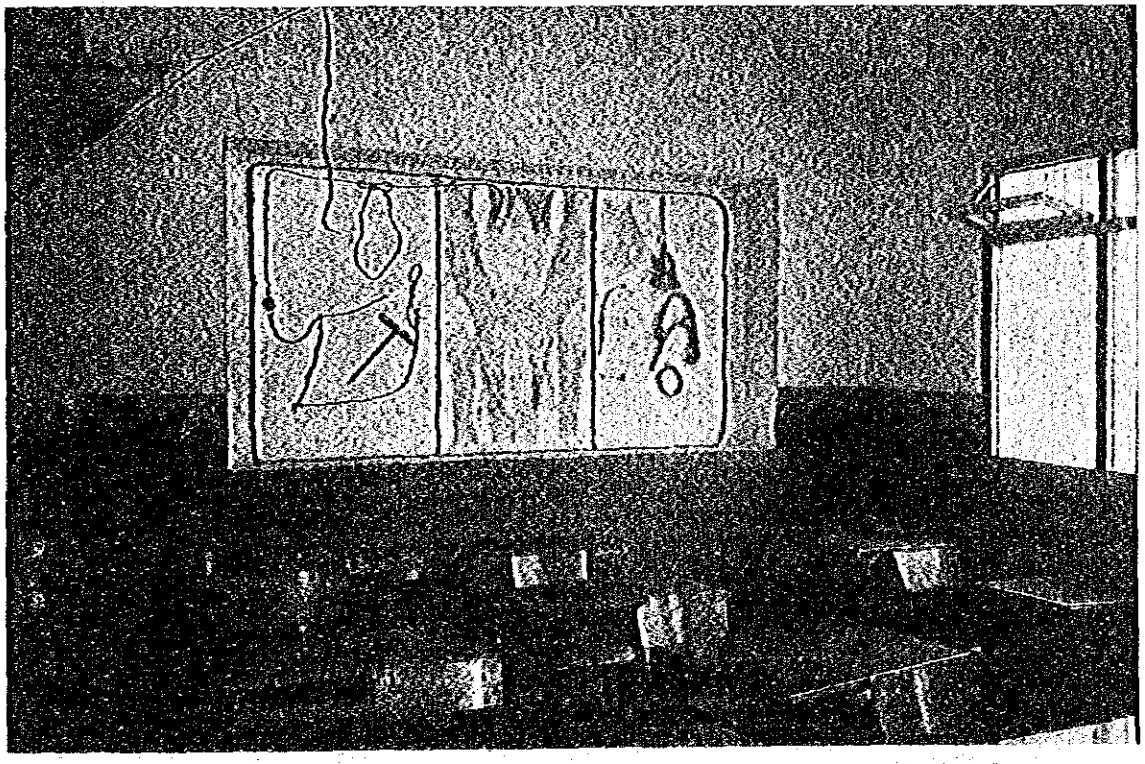
訓練用滿艇



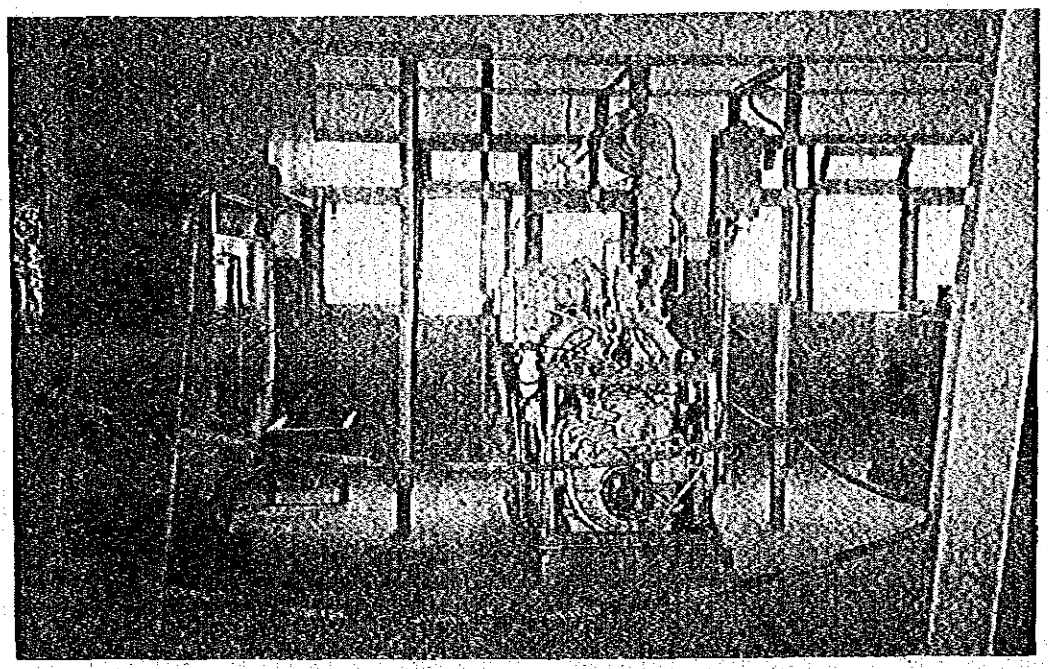


漁　具　実　査　室

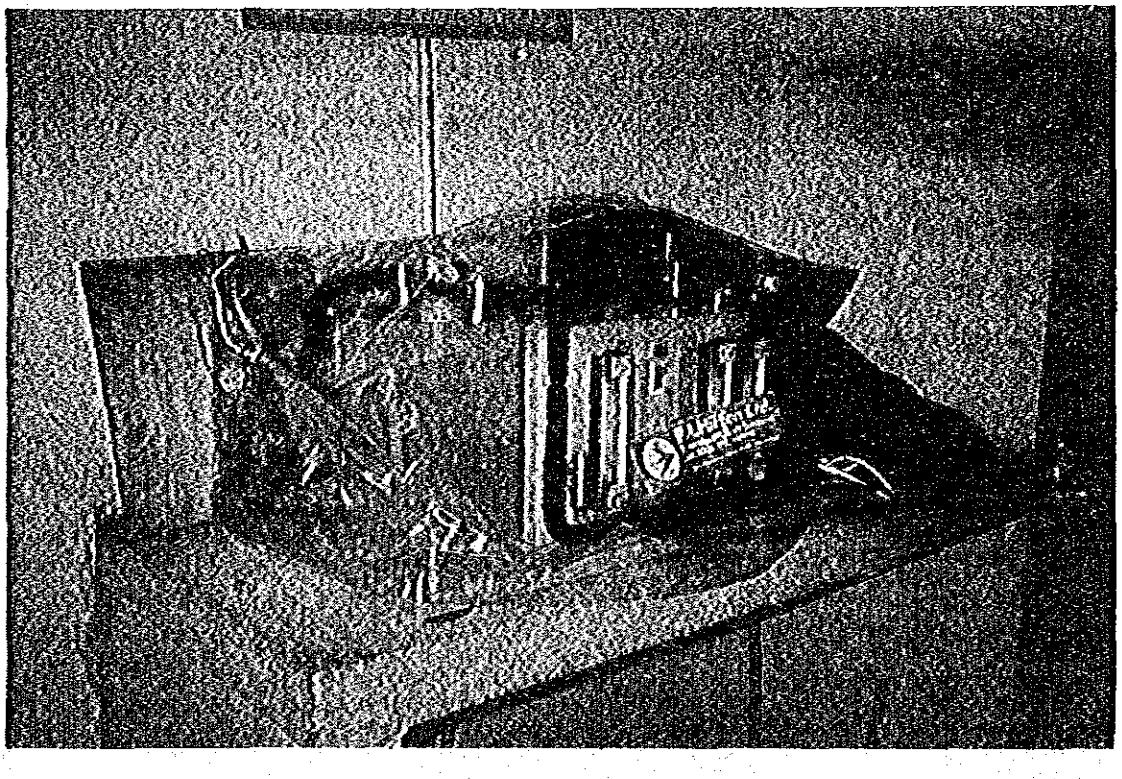




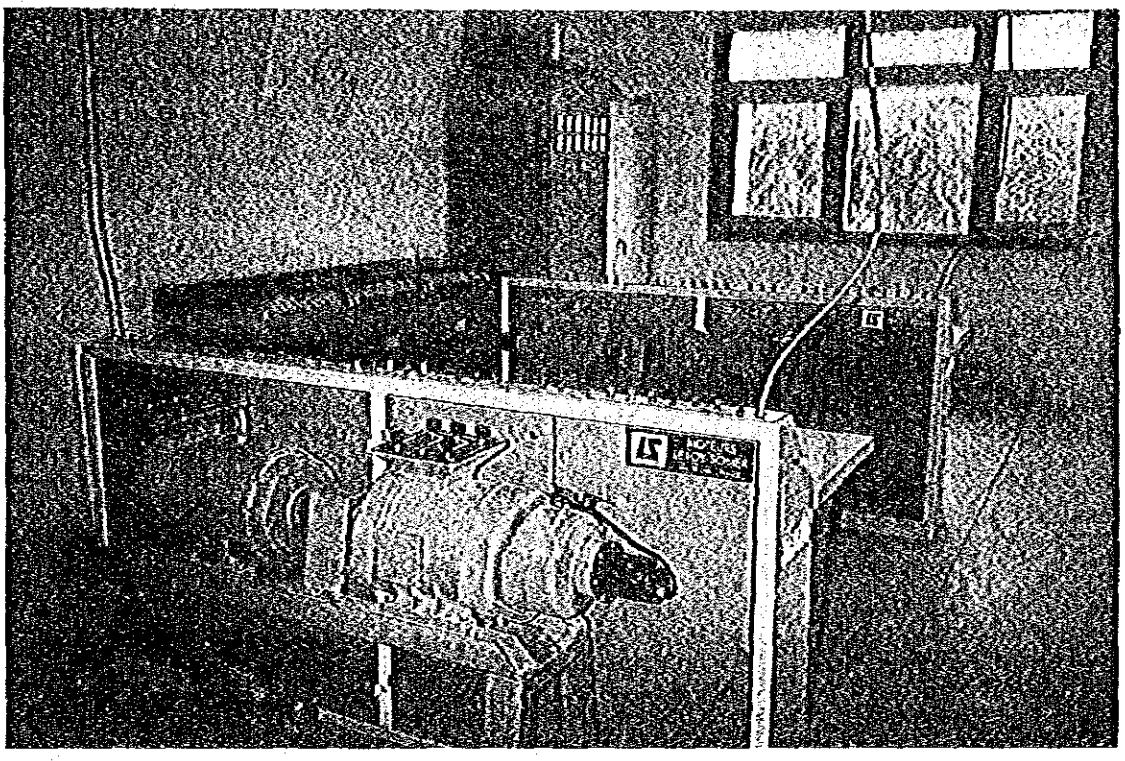
機関実査室　タャタピラ　２６０馬力



油分析器供子機材

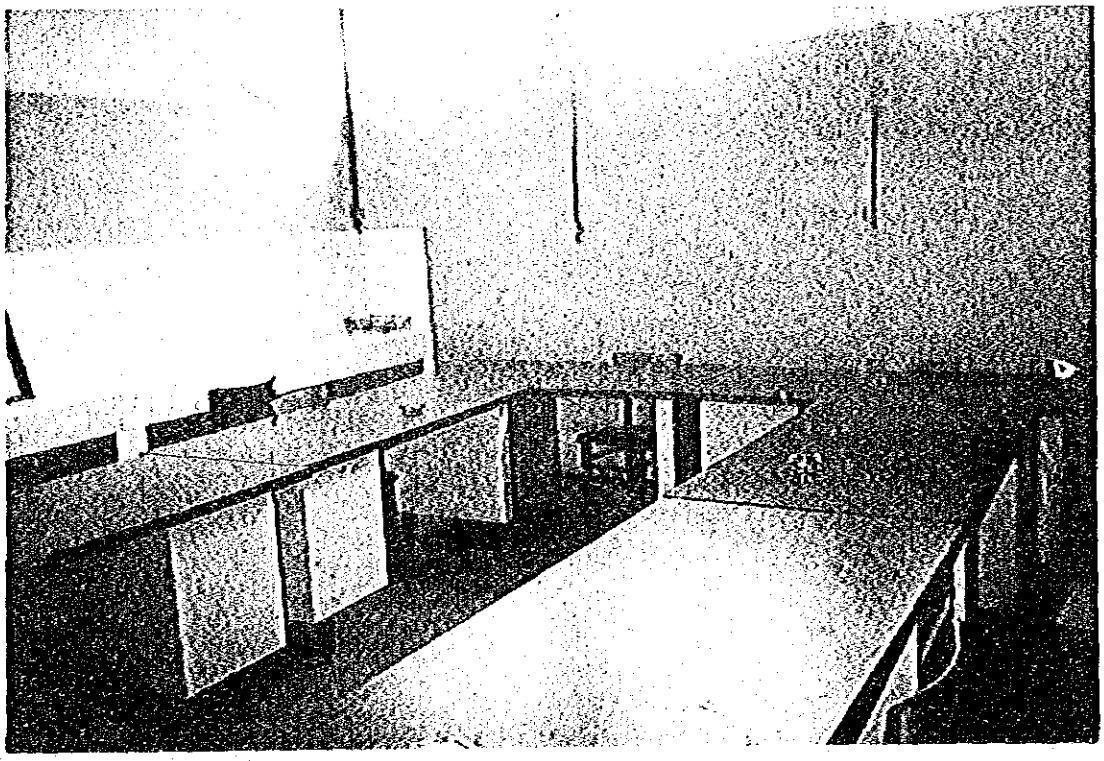


電　気　実　習　室



カサブランカ E.P.M. 校長室、副校長

教務主任（航海、漁業科教師）冷凍機教師



教　師　会　議　室